

最終講義次第

- 一、開会の言葉
- 一、研究科長挨拶
- 一、最終講義
- 「光」に魅せられて二十年
花田勝美 病院長
- 一、花束贈呈
- 最終講義
- 「房室結節、OPLL、そして感謝」
元村 成 教授
- 一、花束贈呈
- 最終講義
- 「視床下部―下垂体・副腎系に魅せられて」
須田俊宏 教授
- 一、花束贈呈
- 最終講義
- 「学問は北から」
兼子 直 教授
- 一、花束贈呈
- 最終講義
- 「消化器外科、消化管生理そして医療情報
―三十八年間の弘大生活を振り返って―」
羽田隆吉 教授
- 一、花束贈呈
- 最終講義
- 「三十七年間の研究を振り返って」
佐藤 敬 教授
- 一、花束贈呈
- 研究科長謝辞
- 一、閉会の言葉





授業中は
飲食禁止



授業中は
飲食禁止



授業中は
飲食禁止









授業中は
飲食禁止





愛の徳用について【注意】

愛の徳用について、愛の徳用について
上記の徳用について、
愛の徳用について、
愛の徳用について、

愛の徳用について



2011.01.14
2011.01.14

2011.01.14
2011.01.14



1994年4月1日
弘前大学医学部
薬理学教授として赴任

1994年6月25日
東奥日報
弘前大学医学部50周年
「基礎医学を支える人々」

同日の記事として
弘前大学医学部50周年
記念特集(祝辞・座談会)
が組まれている

それから
18年が経過した！





Ca²⁺拮抗薬の心血管作用のまとめ

	冠動脈拡張	心収縮力	心拍数	房室結節伝導
ニフェジピン	+++	→ ↑ ??	反射性 ↑	→
ジルチアゼム	+++	↓	↓	↓
ベラパミル	++	↓↓	↓↓	↓↓

1. ベラパミル: 心臓抑制
2. ニフェジピン: 血管選択性
3. ジルチアゼム: 中間的



CLINICAL CALCIUM

1992

7月号 特集 がんの骨転移薬の最新動向

編集長 関谷 正

発行所 日本がん治療学会

定価 1,400円

発行 1992年6月15日

CLINICAL CALCIUM

1992年6月15日発行

編集長 関谷 正

発行所 日本がん治療学会

定価 1,400円

発行 1992年6月15日

CLINICAL CALCIUM 1992.3/17/25

弘前大学赴任後の血液灌流標本を使った研究

- Dr. Sasaki S. J Cardiovasc Pharmacol 1999; 33: 912-921
- Dr. Daitoku K. J Cardiovasc Pharmacol 1999; 34: S81-S84
- Dr. Higuma T. Jpn Circ J 2000; 64: 295-302
- Dr. Sasaki S. Am J Physiol (Heart Circ Physiol) 2000; 279: H2509-H2518

(平成12年度第5回医学部学術賞奨励賞)

- Dr. Iwasa A. Pacing and Clinical Electrophysiology (PACE) 2002; 25: 753-760
- Dr. Kobayashi T. Pacing and Clinical Electrophysiology (PACE) 2003; 26: 2008-2015
- Dr. Kimura M. Circulation 2004; 109: 125-131

(平成16年度第9回医学部学術賞奨励賞)

OPLL (脊柱後縦靱帯骨化症)

Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament of the Spine

- ・ 脊柱靱帯組織における異所性骨化
- ・ 骨化病巣の脊髓圧迫による重篤な神経症状











平成17年度東医体館から支給勲功賞状式 2005.10.8
空手道部は東医体館運動で、学長表彰の常連でした。









